

この説明書は、お薬とともに保管し、服用の際には、必ずお読みください。

第2類医薬品

五疳強心薬

どうき・息切れ・気つけ

生薬製剤 救心カプセルF

どうきや息切れは、循環器系や呼吸器系の働きの低下をはじめ、過度の緊張やストレス、更年期や暑さ・寒さなどによる自律神経の乱れ、過労や睡眠不足、タバコやアルコールのみ過ぎ、肥満、激しい運動など、さまざまな原因で現れてきます。

また、加齢などによって身体の諸機能が低下してくると、**どうきや息切れ**も起こりやすくなります。

さらに、こうした症状を放置しておく、さまざまな疾病発症の要因となり、しだいに生活の質の低下を引き起こすようになります。

救心カプセルFは8種の動植物生薬がそれぞれの特長を発揮し、血液循環を改善してこのような**どうきや息切れ**にすぐれた効きめを現します。

身体がだるくて気力が出ないときや、暑さなどで頭がボーッとして意識が低下したり、めまいや立ちくらみがしたときの**気つけ**にも**救心カプセルF**は効果を発揮します。

⚠ 使用上の注意

❌ してはいけないこと

〔守らないと現在の症状が悪化したり、副作用が起こりやすくなる〕
本剤を服用している間は、次の医薬品を服用しないこと
他の強心薬



相談すること

- 次の人は服用前に医師、薬剤師または登録販売者に相談すること
(1) 医師の治療を受けている人
(2) 妊婦または妊娠していると思われる人
- 服用後、次の症状があらわれた場合は副作用の可能性があるので、直ちに服用を中止し、この説明書を持って医師、薬剤師または登録販売者に相談すること

関係部位	症 状
皮膚	発疹・発赤、かゆみ
消化器	吐き気・嘔吐

3. 5～6日間服用しても症状がよくなる場合は服用を中止し、この説明書を持って医師、薬剤師または登録販売者に相談すること

効 能

どうき、息切れ、気つけ

●こんなときのどうき・息切れに



●こんなときの気つけに



(裏面につづく)

用法・用量

朝夕および就寝前に水またはお湯で服用すること

年齢	1回量	服用回数
大人(15才以上)	1カプセル	1日3回
15才未満	服用しないこと	

- (1) カプセルをかんだり、中身を取り出したりせずに、そのまま服用すること
- (2) カプセルの取り出し方: 図のようにカプセルの入っているPTPシートの凸部を指先で強く押して裏面のアルミ箔を破り、取り出して服用すること(PTPシートを誤ってそのままのみ込んだりすると、食道粘膜に突き刺さる等思わぬ事故につながります。)



成分

《救心カプセルF》は帯赤白色(薄いピンク)のカプセル剤で、3カプセル中、次の成分を含みます。

成分	分量	主な作用
センソ	5mg	心筋の収縮力を高め、血液循環をよくします。また、余分な水分を排泄し、心臓の動きを助けます。
ゴオウ	4mg	末梢循環を改善し、心臓の動きを助けます。
ロクジョウ末	5mg	強壮作用により気力を高めます。
ニンジン	25mg	
サフラン末	4.5mg	血液循環をよくします。
真珠	7.5mg	鎮静作用によりストレスなどからくる神経の緊張を和らげます。
リュウノウ	2.7mg	気力や意識の減退を回復させます。
動物胆	8mg	消化器の動きをよくし、他の成分の吸収を助けます。

添加物として部分アルファー化デンプン、メタケイ酸アルミン酸Mg、ステアリン酸Mg、カプセル本体(ゼラチン)にラウリル硫酸Naを含有します。

保管および取扱い上の注意

- (1) 直射日光の当たらない湿気の少ない涼しい所に保管すること
- (2) 小児の手の届かない所に保管すること
- (3) 他の容器に入れ替えないこと(誤用の原因になったり品質が変わる。)
- (4) 使用期限を過ぎた製品は服用しないこと

◎心臓への負担を和らげるために

過度な飲食や肥満、喫煙習慣、急激な温度変化や夜ふかしは、心臓に負担をかけ、どうきや息切れの原因となります。



● 過度な飲食や肥満



● 喫煙習慣



● 急激な温度変化や夜ふかし

製品についてのお問い合わせは、下記にお願いいたします。

救心製薬株式会社 お客様相談室

電話：03-5385-3211(代表)

受付時間：9：00～17：00(土、日、祝日、弊社休業日を除く)



救心製薬株式会社
東京都杉並区和田1-21-7